
ミニミニ小説「夏」

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ミニミニ小説「夏」

【Nコード】

N1253N

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

みじか〜いやつです。すぐ読めます。忙しい人専用の小説。

暑い。汗がだらだら出る。

オレはうちわで扇ぎながら、描きかけの原稿をチェックする。

「先生。クーラー買いましょよう」

「だめだ。単行本の売れ行きが悪い」

「暑すぎて死んじゃうよう」

「お前の給料払えなくなってもいいのか」

「えーやだー」

アシスタントに原稿を渡す。

「やべえ」

「どうした」

「先生。汗が原稿に落ちて線流れちゃった」

「!!!!!!」

せみがみんな鳴く。

「ようし。しょうがねえ。こんなときは、何やってもだめだ。映画

でも観に行こう」

「やったークーラー効いてるよ映画館」

「よかったね。やったね」

オレはアシスタントを連れて外に出た。

「うわあ。暑いなあ」

「すげえね。猛暑だねえ」

バクダッドかのような暑さだ。景色がゆらゆら揺れている。

「おい。あれ見ろ」

「げ」

「ひええええ」

前を、マンモスが走ってる。

「いよいよ幻覚が見えてきましたね」

「頭いかれてるなあ」

「早く映画館に行きましょうよう」

みんなでバスに乗った。

「うひゃあ。クーラー効いてるう」

「最高ですねえ」

オレたちは、いい感じになってきて、メモ帳にアイデアを走らせたりする。

まもなく目的地に到着した。

切符売り場で切符を買った。

「お前、パンフレット買う？」

「まあ、映画面白かったらあとで買うよ」

アシスタントはポップコーンやコーラを買ってる。

ブザーが鳴った。いやいよだ。

しかし、十分くらいして、みんな寝てしまった。映画がつまらないわけではない。みんな、疲れていたのだ。職場は暑すぎて眠れないが、映画館の中は涼しいので眠れる。

みんな、おのおの夢の中でいろいろしていた。

（映画）

口避け女登場のシーン。

「おい。たけし。逃げるんだあああああ」

「うわあああああああ」

（アシスタントよしおの夢）

マンモスに追いかけている。遠くで火山が噴火してる。みんな原始人の格好をしてる。

（オレの夢）

米軍機が空からマシンガンを連射している。連射してるのはなぜかミッキー（ピー）マウス。

（アシスタント三好くんの夢）

なぜか食い逃げして、警官に追いかけてる。警官が発砲し、なぜかオレが撃たれる。なんでや。

（アシスタントロリ華の夢）

フランス料理店でイケメンの彼氏と食事している。ワインでかんぱーいなんてやってる。

三人はうんうんうなされ、ロリ華だけにやにやして眠っていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1253n/>

ミニミニ小説「夏」

2010年10月22日00時47分発行